

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	統合データベースプロジェクト		担当部局庁	研究振興局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～平成22年度		担当課室	ライフサイエンス課		ライフサイエンス課長 石井康彦		
会計区分	一般会計		施策名	X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	総合科学技術会議ライフサイエンスPT統合DBタスクフォース報告書(平成21年4月総合科学技術会議統合DBタスクフォース)、新たなライフサイエンス研究の構築と展開(平成21年12月ライフサイエンス委員会)、第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ライフサイエンス分野において大量に産み出されているDNA塩基配列データ、タンパク質の立体構築データ、遺伝子の発現データなどのデータベースについて、ライフサイエンス研究における利便性向上を図るため、我が国のライフサイエンス関係データベース整備戦略の立案・評価支援、統合化及び利活用のための基盤技術開発、人材育成等を行い、ライフサイエンス関係データベースの統合的利活用システムを構築・運用する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国内に散在しているライフサイエンス分野のデータベース所在情報(名称、概要、所有・運営機関、URL等)を記載し、カタログ化したデータベースの構築・維持・運用、さらに利便性の向上を図るため、異なるデータベースを横串に検索できる横断検索等の開発等を実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	1,100	850	381	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	1,100	850	381	-	-	
	執行額	1,100	850	381	-	-		
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(22年度)
	カタログDB数 横断検索DB数 DB受け入れ数	個		596 236 11	808 244 30	912 270 45	800 240 30	
		達成度		%	74.5 98 36.7	101 101.7 100	114 112.5 150	-
	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	機関数及び課題数		活動実績(当初見込み)	機関数	17	16	15	-
			課題数	9	9	8	-	
単位当たりコスト	25(百万円/機関)		算出根拠	25(百万円/機関) =(平成22年度執行額:381百万円)/(実施機関数:15)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○明確な目標・計画に沿って国の委託事業として実施する政策課題対応型の研究開発であることから、支出先の用途の把握については、これまで厳格に実施してきた。具体的には、全ての委託契約について、支出先・用途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査を実施した。</p> <p>○プロジェクト内に研究運営委員会と作業部会分科会を設け、各機関の進捗状況を確認し、必要に応じて助言を行っていた他、成果報告書の提出等により、事業開始時の当初計画と比べた進捗状況や今後の展望について毎年度確認してきた。</p> <p>○昨年度の行政事業レビューによる「総合科学技術会議の方針を踏まえ、研究成果として産出されたデータを利用者の視点に立って統合化し、効率よく研究者・産業界・国民に還元していくため、本プロジェクトとJSTバイオインフォマティクス推進センター事業との一本化を確実に進めていくべき。」という指摘等を踏まえ、平成23年度からJSTバイオインフォマティクス推進センター事業と統合し、JSTライフサイエンスデータベース統合事業として実施することとなった。</p>		
平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止している。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p><政策評価書> ○政策評価書記載ページ: http://www.mext.go.jp/a_menu/hyouka/kekka/1291037.htm</p> <p><関連ホームページ等> ○事業のホームページ: http://lifesciencedb.mext.go.jp/</p>			

文部科学省

381百万円

委員等旅費・職員旅費 0.3百万円
を含む

ライフサイエンス分野において大量に産み出されているDNA塩基配列データ、タンパク質の立体構築データ、遺伝子の発現データなどのデータベースについて、ライフサイエンス研究における利便性向上を図るため、我が国のライフサイエンス関係データベース整備戦略の立案・評価支援、統合化及び利活用のための基盤技術開発、人材育成等を行い、ライフサイエンス関係データベースの統合的利活用システムを構築・運用する。

↓
【公募・委託】

A. 統合データベースプロジェクト
:381百万円

大学・独立行政法人等(全15機関)

国内に散在しているライフサイエンス分野のデータベース所在情報(名称、概要、所有・運営機関、URL等)を収載し、カタログ化したデータベースの構築・維持・運用、さらに利便性の向上を図るため、異なるデータベースを横串に検索できる横断検索等の開発等を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A. 独立行政法人産業技術総合研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	研究者及び研究補助者	34			
業務実施費	電子計算機諸費(DBシステム開発等)	14			
	雑役務費(人材派遣費等)	13			
	その他	6			
一般管理費		6			
計		73	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 統合データベースプロジェクト

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人産業技術総合研究所	ライフサイエンス統合データベース開発運用(統合データベース開発:ワークフロー技術を用いた統合DB環境構築)、糖鎖修飾情報とその構造解析データの統合(糖鎖科学統合データベースの構築)	71	企画競争	—
2	国立大学法人京都大学	ライフサイエンス知識の階層化・統合化事業	66	企画競争	—
3	独立行政法人理化学研究所	植物オミックス情報および蛋白質構造情報	63	企画競争	—
4	国立大学法人東京大学	ライフサイエンス統合データベース開発運用(統合データベース支援:DB構築者の養成)、疾患解析から医療応用を実現するDB 開発(ゲノムワイド関連解析のデータベース開発)、疾患解析から医療応用を実現するDB 開発(リシークエンスDBの開発)	55	企画競争	—
5	財団法人かずさダイ・エヌ・エー研究所	ライフサイエンス統合データベース開発運用(統合データベース開発:植物及び植物関連微生物のゲノム情報データベース統合と高度化)	24	企画競争	—
6	国立大学法人東京医科歯科大学	統合医科学データベース構築方式の開発	18	企画競争	—
7	国立大学法人大阪大学	統合医科学データベース構築方式の開発(統合医科学データベース構築方式の開発:神経疾患を中心として)	12	企画競争	—
8	学校法人関西文理総合学園 長浜バイオ大学	ライフサイエンス統合データベース開発運用(統合データベース支援:アノテータ・キュレータの教育)	12	企画競争	—
9	国立大学法人お茶の水女子大学	ライフサイエンス統合データベース開発運用(統合データベース支援:DB高度利用者の養成)	12	企画競争	—
10	株式会社日立製作所	疾患解析から医療応用を実現するDB 開発(ゲノムワイドSNPの疾患関連解析手法の開発)	11	企画競争	—

※平成18年度、19年度に公募を実施したもの。